

知的財産教育研究・専門職大学院協議会

夏期知的財産連合英語セミナー2014

-アジアにおける知的財産の将来を考える-

日程：2014年8月25日～29日
場所：東京理科大学 森戸記念館
(東京都新宿区神楽坂4-2-2)

【主催】 知的財産教育研究・専門職大学院協議会 (JAUIP)

【協力】 WIPO (世界知的所有権機関)、JIPA (日本知的財産協会)、
IPAJ (日本知財学会)、LESJ (日本ライセンス協会)

開催のご案内

- 当協議会は昨年、すべて英語による夏期知的財産連合セミナーを開催しました。これは、わが国の知財系大学院が協力して、アジア・新興国における知的財産高度専門人材の育成を推進するために開催したもので、今年も東京では8月25日から5日間、大阪では9月1日から5日間、それぞれ開催いたします。
- 東京でのセミナーは、WIPO、日本知財学会、日本知的財産協会、日本ライセンス協会のご協力により、多様なプログラムとなっています。日本の知財法や知財実務については、当協議会のメンバー校の教員が基礎編と応用編を講義します。また、グループ討論やワークショップ形式での講座も実施します。最終日には、特許庁および知的財産高等裁判所の視察ツアーも組み入れています。
- 大阪でのセミナーは、大阪工業大学が正規科目の夏期集中講義として開催するもので、同大学の提携大学以外の参加には、科目等履修制度 (<http://www.oit.ac.jp/ip/graduate/curriculum/kamoku.html#5>) による申込期限がありますのでご注意ください。
- 本セミナーは、アジア・新興国の知財人材の育成を目的とし、国内外からの参加者を受け付けます。
＜以下は、東京会場についてのご案内です＞
- 期日： 2014年8月25日（月）から 8月29日（金） ※全日程参加してください（見学は任意）。
- 会場： 東京理科大学・森戸記念館 (<http://www.sut.ac.jp/info/access/kagcamp.html>)
- 費用： 学生 3,000円、 社会人 20,000円 ※PPTスライドが利用可能なノートPCを持参してください。
- 定員： 70名（定員になり次第締め切ります）
- 言語： 全て英語
- 問い合わせ： summer-seminar@jauip.org
- 担当： 東京理科大学大学院教授 藤野 仁三 / 日本大学大学院教授 加藤 浩

スケジュール

	8月25日(月)	8月26日(火)	8月27日(水)	8月28(木)	8月29日 (金)
	導入編	基礎編	応用編		見学
午前	受講受付 10:00～	特許法 三村淳一 9:00～10:20	著作権法 宮武久佳 9:00～10:20	ICT分野における知的財産権 菅野政孝 9:00～10:20	特許庁見学 10:00～11:50
	ガイダンス (各大学紹介など) 10:30～12:00	意匠法 鈴木公明 10:40～12:00	国際取引法と知財法 舩井一仁 10:40～12:00	知的財産マネジメント 木越力 10:40～12:00	
昼休み	昼休み 12:00～13:30	昼休み 12:00～13:30	昼休み 12:00～13:30	昼休み 12:00～13:30	昼休み 12:00～13:30
午後	グローバル化と知財 岡本正紀 13:30～14:50	商標法と不競法 橋本千賀子 13:30～14:50	知的財産政策 加藤浩 13:30～14:50	知的財産戦略策定 田中義敏 13:30～14:50	知材高裁見学 14:00～15:30
	グローバル化と知財 パネル討論(1) (TBA) 15:10～16:30	日本のイノベーションシス テムと知的財産 渡部俊也 15:10～16:30	模擬特許ライセンス契 約交渉 荻野誠、他 15:10～18:20	スマートフォンビジネスと 知財権 藤野仁三 15:10～16:30	
	グローバル化と知財 パネル討論(2) (TBA) 16:50～18:20	アジアにおける企業の模 倣品対策 山崎克俊 16:50～18:20		グループワーク (討論・発表) 受講者全員 16:50～18:20	
	懇親会	—	—	講評・修了式	懇親会

授業科目（１）

➤ **WIPOセッション「グローバル化と知財」** **-国際的視点から見た知財制度の今後の方向性-**

近年、世界のグローバル化の進展に伴い、国際的視点から知財制度の今後の方向性を考察することの重要性が益々高まってきている。本講義の前半では、世界知的所有権機関（WIPO）の取組内容の説明をつづいて、知財制度がおかれている現状とその問題点、またそれらを解決するための手がかりについて、国際的視点から概括する。後半は、途上国の発明家や起業家による知財の活用事例を用いたワークショップ形式の演習を行なう。

➤ **WIPOセッション「パネルディスカッション」** **- 国際的な知財システムの今後の方向性 -**

知的財産権の出願や取得の中心は、近年、先進国からアジア・新興国にシフトしつつあり、知的財産権の世界地理は、大きく変化してきている。有識者をパネリストとしてお招きし、国際的な知財システムの現状と課題について検討を行い、今後の方向性についてパネルディスカッションを行う。

➤ **「特許法」** **- 特許取得手続及び特殊クレームの解釈手法の日米比較 -**

講義の前半では、日米における特許取得の手続き（特許出願から特許登録までの流れ）を講義し、両国での特許取得手続きにおける相違点について考察する。講義の後半は、特殊なクレームであるプロダクト・バイ・プロセス・クレーム（製造方法によって生産物を特定しようとする記載がある請求項）の日米での解釈の相違について考察し、実務の上で注意すべき点について言及する。

➤ **「意匠法」** **- 知的財産戦略へのインプリケーション -**

知的財産法のうち意匠法の概要を示すことにより、審査、登録を経てプロダクトデザインを保護する法的枠組みに関する基礎的な知識と、知的財産法体系における意匠法の位置付けを解説する。

授業科目（２）

➤ 「商標法及び不正競争防止法」 － トレードレスをいかに保護するか －

来年、音や色といった非伝統的商標の登録制度導入が決まり、今後日本においてトレードドレスの保護に関心が集まると予想される。商品形態を含むトレードドレスはこれまでも不正競争防止法、立体商標登録等により保護されてきた。今までの判例、審決を振り返り、トレードドレスの保護の在り方について検討したい。

➤ 日本知財学会セッション 「日本のイノベーションシステムと知的財産」

知的財産制度は多くの国でイノベーションシステムの一部として組み込まれて機能している。最近では新興国においても科学技術政策の主要なツールとして位置付けられていることも多い。本セッションでは日本のイノベーション戦略のなかで知的財産制度がどのように位置づけられているのかについて、国家プロジェクト、産学連携や大学の知財管理などを題材として解説する。

➤ 日本知的財産セッションセッション 「アジアにおける企業の模倣品対策」

模倣品や海賊版問題はアジア最大の知財問題と言ってよい。OECD（経済協力開発機構）は模倣品・海賊版の貿易額は2500億ドル（24兆円）と推計している。企業にとっては模倣品は売り上げの減少だけにとどまらず、ブランドの毀損につながる深刻な問題であることはいうまでもない。本セッションでは企業の立場でアジアの模倣品対策に取り組んできたゲスト講師を迎えて、模倣品問題の現状と対策について議論していく。

➤ 「著作権法」 － 日本の著作権分野における2014年のニュース －

デジタル時代の今日、ネットワークに乗った情報やコンテンツ、作品が国境や地域を越えて自由に行き交う。日本の著作権システムに問題はないだろうか。本講義では、日本の著作権システムの現状と世界における日本の課題を考える。最近議論を呼んでいる「環太平洋経済協定（TPP）と著作権」や「孤児作品（orphan works）」「著作権の保護期間（日本は50年）」についても議論したい。

授業科目（3）

➤ 「国際取引法と知財法」

－ 自社にとって有利な契約交渉術とは何か？ 現実に使われている契約書から学ぶ －

今回は国際取引の中でも近年頻繁に見られる海外の企業からのソフトウェアのライセンス許諾契約書を見て、その内容を学んでいきます。講義に用いる契約書はアメリカの上場企業の了解を得て、現実に利用されているものを使います。契約の一般条項とライセンスに特有の条項を概観することを目的にしています。自社にとっての有利不利などを検討してみましょう。

➤ 「知的財産政策」

－ 日本の知的財産政策は、日本社会にどのような影響を与えてきたか －

日本の知的財産政策は、高度経済成長（1950年代後半～1973年）において、一定の役割を担ってきたが、最近では、2002年11月に知的財産基本法が成立し、国家政策として知的財産政策が急速に推進されている。本講義では、日本の知的財産政策の経緯と現状について説明し、知的財産政策が日本社会に与える影響について考察する。

➤ 日本ライセンス協会セッション

「模擬特許ライセンス契約交渉」

大手企業間の仮想の特許ライセンス交渉を実演します。ライセンス料を下げるためにライセンシーは許諾特許の価値を低く算定し、それを正当化するために特許の弱点を攻撃します。それに対して、ライセンサーは、ライセンス条件を飲まなければ訴訟も辞さないとライセンシーにプレシャーをかけます。この模擬交渉を通じて、特許ライセンス交渉の雰囲気を実験していただきます。

➤ 「ICT分野における知的財産権」

－ ICT世界における知的財産の宝庫の扉を開こう－

情報・通信技術（ICT: Information and Communication Technology）の発展は著しい。このため法律はICTの発展に追従できていないということが良く言われる。従って、ICTの発展状況から法的にどのような問題が発生するかを早めに予想することが必要となる。本講義ではICTについて簡単に概説し、知的財産権の中で特許と著作権を代表例としてICTとの関わり方について説明する。その上で、ICTを題材とした特許法、著作権法に関連する判例をいくつか抽出して技術的なポイントと判決の持つ意義を解説する。

授業科目（４）

➤ 「知的財産マネジメント」

－ 知的財産マネジメント無くして会社の将来は無い？ －

知的財産マネジメントの概要について特許を中心に説明し、そして、知的財産権の活用事例として特許のライセンスやパテント・プールについても言及する。外資系大手企業（IBM, Technicolor）の知財部における社内弁理士・特許技術者としての20年の実務経験に基づいて、分かりやすく具体例を挙げながら説明する。

➤ 「知的財産戦略策定」

－ あなたは戦略策定のプロセスを御存知ですか？ －

知的財産戦略の欠如ゆえ知的財産権の十分な活用が図れていないと言われる。企業を取り巻く外部環境及び内部資源はそれぞれ異なるため、それぞれの企業が独自の知的財産戦略を構築しなければならない。まず、戦略策定のプロセスを踏まえることが必要である。その上で、知的財産制度及び運用を踏まえた知的財産分野に特有の戦略要素を加味しなければならない。この講義では、知的財産分野の戦略要素を如何にして戦略策定のプロセスに融合させ、知的財産戦略を策定していくかを解説する。

➤ 「スマートフォンビジネスと知財権」 － 『アップル対サムスン事件』の教訓 －

企業は研究開発成果を特許権で保護します。同時に、成果技術を標準化して普及させようとします。この傾向は電気通信（ICT）分野で特に顕著です。しかし、この分野では、特許権行使が競争法違反の疑いを招くおそれがありますので、事業推進にあたり注意が必要です。好例が「アップル対サムスン」事件におけるスマートフォンをめぐる知財権侵害裁判です。本講義では、なぜ標準必須特許の行使によって競争法違反の問題が生じるのか、そのメカニズムを解説します。また、その問題を回避するためのガイドラインについても比較法的に解説します。

➤ 「グループワーク」

夏期東京知的財産連合セミナーの全体を通して修得した知見などに基づいて、与えられたテーマについてセミナー開催期間中に各グループで発表資料を作成し、最終日にグループごとに、グループ発表・討論を行う。テーマおよびグループの構成メンバーについては、初日のガイダンスの際に詳細に説明する。講師より講評を行うとともに優秀グループを表彰する。

授業科目（５）

➤ 「特許庁見学」

－ 特許庁の現状と課題を見聞しよう！－

特許庁は、特許、実用新案、意匠、商標に関する審査・審判に関する業務を担当する官庁であり、最近では、知的財産制度の普及活動などを含め、広く知的財産行政を担当している。このコースでは、特許庁を実際に訪問し、審判廷などの見学のほか、審査室において審査官から直接、お話を頂くことを予定しており、最近の知的財産行政の現状を把握し、今後の課題について認識を深めることを狙いとする。

➤ 「知財高裁見学」

－ 知財高裁の現状と課題を見聞しよう！－

知的財産高等裁判所（知財高裁）は、知的財産権に関する訴訟を専門に担当する裁判所として、2005年4月に設置され、知的財産権に係る紛争の解決に貢献している。このコースでは、知財高裁を実際に訪問し、法廷見学や知財高裁所長などからお話を頂くことを予定しており、最近の知的財産訴訟の現状を把握し、今後の課題について認識を深めることを狙いとする。

講師プロフィール（１）



岡本正紀

世界知的所有権機関（WIPO）
日本事務所 カウンセラー（所長代行）
前職：特許庁審査官、特許庁調整課品質
監理室長補佐、経済産業省製造産
業局模倣品対策・通商室専門官



橋本千賀子

（業）橋本千賀子商標特許事務所
代表パートナー、弁理士
東京理科大学大学院イノベーション研究科
知的財産戦略専攻教授
元金沢工業大学大学院客員教授
発明推進協会模倣対策アドバイザー



三村淳一

日本大学大学院知的財産研究科准教授
（米国弁理士）
前職：沖電気工業株式会社知的財産権部
ライセンス担当部長
沖アメリカ社ワシントンDC事務所長



渡部俊也

東京大学政策ビジョン研究センター教授
（兼）技術経営戦略学専攻教授
日本知財学会(IPAJ)会長・理事
内閣官房知的財産戦略専門調査会副会
長等を歴任



鈴木公明

東京理科大学大学院イノベーション研究科
知的財産戦略専攻教授（弁理士）
特許庁 制度改正審議室、特許・実用新案
審査、意匠審査、意匠制度企画室等を歴任



山崎克俊

Asian Honda motor Co., Ltd(Thailand)
Legal & IP Bloc, Executive Coordinator

1986年 Honda Motor 入社
1987-2012年 Honda R&D Patent Gr.

講師プロフィール（２）



宮武久佳

東京理科大学大学院イノベーション研究科
知的財産戦略専攻教授
元横浜国立大学教授、元共同通信者記者、
ハーバード大学ニーマンフェロー（ジャーナリズム
研究員）、元2002年FIFAワールドカップ
日本組織委員会報道部長



舩井一仁

芝綜合法律事務所 弁護士、アースタックスグ
ループ 取締役、北見工業大学 客員教授、岡
山大学 客員教授、国士舘大学 総合知的財
産法学研究科（大学院）非常勤講師、Allen
Systems Group Inc. 日本代表（本社 米国
フロリダ州）、日本ブロードビジョン株式会社 代表
取締役（本社BroadVision Inc. 米国上場）、
AMEC ASIA株式会社 代表取締役（本社
AMEC Inc. 米国・英国上場）、コースタルジャ
パン株式会社 代表取締役（本社Coastal
Contact Inc. カナダ）



加藤浩

日本大学大学院知的財産研究科教授
（弁理士/工学博士）
前職：特許庁審査官・審判官、
政策研究大学院大学助教授



荻野誠

東京理科大学大学院 イノベーション研究科
知財戦略専攻教授
元(株)日立国際電気知的財産権本部本部長
日本ライセンス協会副会長



菅野政孝

日本大学大学院知的財産研究科教授
前職：日本電信電話公社（現NTT）
横須賀電気通信研究所
NTTデータ(株) 技術開発本部
NTTデータ先端技術(株) 企画部

講師プロフィール（3）



木越力

株式会社トムソン技術研究所（仏テクニカラー社日本法人）アジア地区特許担当副社長
金沢工大虎ノ門大学院客員教授
日本大学大学院知的財産研究科客員講師
元IBM知的財産部主任弁理士課長



藤野仁三

東京理科大学イノベーション研究科
知的財産戦略専攻教授
東京大学情報理工系研究科非常勤講師



田中義敏

東京工業大学大学院イノベーションマネジメント研究科教授
弁理士登録、日本知財学会、研究技術計画学会、日本MOT学会、AIPPI等会員

受講生の声

➤ 「台湾、大学院生」

私は、日本の知的財産法について、非常に多くの知識を学びました。このセミナーは、非常に有益であり、また、印象的でした。また、知的財産教育研究・大学院協議会、日本知的財産協会および各大学が、知的財産分野における影響およびネットワークを積極的に強化していることを知り、感銘を受けました。

➤ 「中国、大学院生」

私は、本セミナーに参加して、各大学院の先生の知財に関する講義を英語で楽しく聴くことができ、また、他の国の学生と一緒に勉強することができて、とても新鮮な一週間を過ごしました。知財の知識と英語をレベルアップさせて、次回、また参加したいと思います。

➤ 「マレーシア、公務員」

このセミナーは、大成功だったと思います。セミナーは、知的財産についてすべての重要なトピックスをカバーされていて、それは知財専門家のために、更に、学生のためにとても有益でした。このセミナーに参加したことの成果は、非常に大きかったと思います。

➤ 「フィリピン、公務員」

このセミナーでは、日本の大学の先生方の考え方を広く学ぶことができて、とても良い経験になりました。また、企業の経営や知財戦略について知ることができ、大変良い勉強になりました。是非、いろいろな人にこのセミナーを紹介したいと思います。

アクセス（東京理科大学 森戸記念館）

東京理科大学 森戸記念館

（東京都新宿区神楽坂4-2-2）

<http://www.sut.ac.jp/info/access/kagcamp.html>

- ◆JR総武線 飯田橋駅 西口 徒歩8分
- ◆地下鉄有楽町線、東西線、南北線、大江戸線
飯田橋駅 B3出口 徒歩5分

神楽坂（早稲田通り）にある毘沙門天の
向かい側の路地を入ってください。
つきあたりが森戸記念館です。



アクセス（知的財産高等裁判所・特許庁）

知的財産高等裁判所

（東京都千代田区霞が関1-1-4 裁判所合同庁舎17階）

<http://www.ip.courts.go.jp/info/access/index.html>

- ◆地下鉄有楽町線 桜田門駅 徒歩3分
- ◆地下鉄丸ノ内線、日比谷線、千代田線
霞が関駅 徒歩2分（地上へのエレベーターあり）

特許庁

（東京都千代田区霞が関3丁目4番3号）

<http://www.jpo.go.jp/cgi/link.cgi?url=/shoukai/soshiki/tizu.htm>

- ◆地下鉄 霞が関駅 A13出口 徒歩7分
- ◆地下鉄 国会議事堂前駅 3番出口 徒歩5分
- ◆地下鉄 虎ノ門駅 5番出口 徒歩4分
- ◆地下鉄 溜池山王駅 8番出口 徒歩5分



大阪工業大学大学院 知的財産研究科（知的財産専門職大学院）による夏期集中講義のご案内

比較知的財産法特論(全講義、英語)

日程	時限	内容	講義担当者
9/1(月)	13:00～13:50	開講式・ガイダンス	
	14:00～17:00	米国司法・訴訟制度	吉田直樹(弁護士、米国弁護士)
	17:30～19:30	歓迎パーティー	
9/2(火)	9:30～12:30	米国特許法入門	萩原弘之(弁理士、米国弁護士)
	14:00～17:00	米国特許判例法	Robert Hollingshead (米国弁護士)
9/3(水)	9:00～12:00	学外訪問・プレゼンテーション準備	
9/4(木)	9:30～12:30	国際ライセンス	寺澤幸裕(弁護士、米国弁護士)
	14:00～17:00	米国特許法の動向	Barry Bretschneider (米国弁護士)
9/5(金)	12:30～17:00	プレゼンテーション	
	17:00～18:30	特別講演	石井正(大阪工業大学名誉教授)
	18:30～20:30	修了式・修了パーティー	

アクセス（大阪工業大学 大宮キャンパス）

大阪工業大学 大宮キャンパス 1号館8階 情報演習室2

（大阪府大阪市旭区大宮5丁目16-1）

<http://www.oit.ac.jp/japanese/access/omiya.html>

- ◆JR大阪駅（阪急、阪神、地下鉄梅田駅）
大阪市バスターミナルより
「34号系統 守口車庫」行き 乗車
「中宮」下車
- ◆大阪市営地下鉄谷町線
千林大宮駅 徒歩15分



お問い合わせ



- **知的財産教育研究・専門職大学院協議会**
Japan Association of Universities for Intellectual Property Education and Research (JAUIP)
- **お問い合わせ**
知的財産教育・研究専門職大学院協議会事務局
東京都千代田区飯田橋4-25-1-12
セントラルプラザ2階
東京理科大学知的財産戦略専攻内
TEL:03-5225-6338
- **セミナーに関するお問い合わせ(E-Mail)**
summer-seminar@jauip.org
- **一般的なお問い合わせ(E-Mail)**
office@jauip.org